

年末年始に向けて防疫対策の強化を！

令和4年12月27日現在、家きんでの鳥インフルエンザ発生は22道県49事例と今シーズンは全国的に発生が続き、環境中のウイルス濃度が非常に高まっている状況です。

(野鳥:20道県127事例、飼育鳥:4県5事例)

これから年末年始や旧正月(中国では春節。2023年は1月22日。)の時期を迎え、人の出入国や移動が活発になることが見込まれ、危機感を持って水際検疫及び農場における病原体侵入防止の徹底が重要となります。

畜産関係者等の海外渡航の自粛、海外からの肉製品持ち込みの禁止について、従業員等への徹底をお願いします。(肉製品を国際郵便等で、日本の国内に持ち込むことは禁止されています。)

また渡り鳥の飛来・滞在シーズンが続くことから、引き続き農場への病原体侵入防止の再徹底をお願いします。

- ① 農場敷地内や鶏舎の周りの消毒を徹底すること。
- ② 農場に入る場合には、衛生管理区域専用の衣服と長靴への交換、さらに鶏舎に入る場合には専用長靴への交換を徹底すること。また、交換の前後で使用する衣服や長靴等の動線が交わらないようにすること。
- ③ 消毒の際は、長靴等の汚れをしっかりと落としてから行うこと。消毒薬は適切な濃度で使用するとともに、汚れた都度、最低でも1日1回以上交換するなど、効果的な方法を徹底すること。

中濃家畜保健衛生所(高病原性鳥インフルエンザ相談窓口)

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。